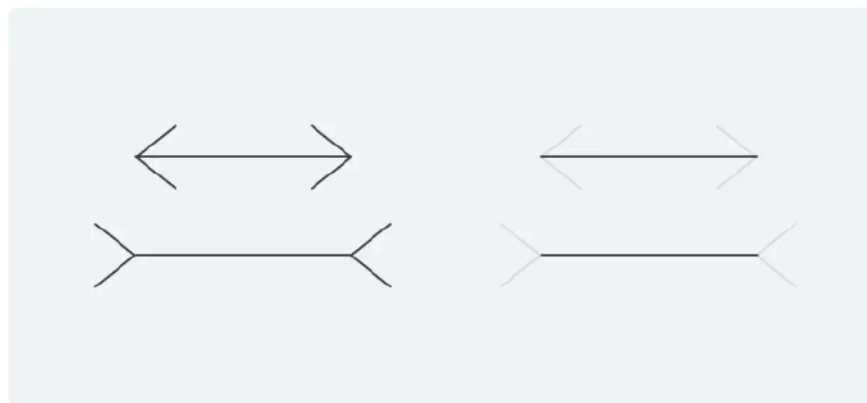


一般的に知られる錯視



こちらはミュラー・リヤー錯視と呼ばれるものです。

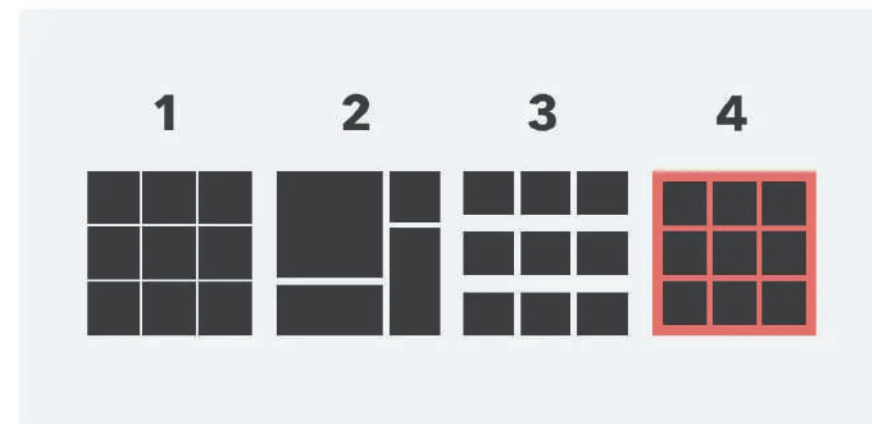
右側の図から分かるように、上下の水平線は同じ長さです。しかし左側の図に目を移すと、内向きの矢羽をつけた線分は短く、外向きの矢羽をつけた線分は長い、と知覚されます。

いわゆる“だまし絵”というと分かりやすいかもしれません。

グリット状に並べられた模様の余白部分にいくつか交差点があります。ここに灰色の影のようなものが見えませんか？交差点以外に目を向けると影が見える仕組みになっているため、なんとなく見ているだけでも影が目に入り、気になります。



パーマングリットは、画像をグリット状に並べる際に気をつけたい錯視です。調整の仕方は主に下記の4つです。



1. 余白を細くする
2. グリットを不規則にする
3. 余白の列幅を広くする
4. 背景に色付けをする